

消防だより

Vol.8

令和5年3月

編集・発行/木更津市消防署 本署警防隊

担当 伊藤・中原・山田

〒292-0834 木更津市潮見2-1

TEL:0438-22-0119 FAX:0438-22-0151

e-mail: sho-shoubo@city.kisarazu.lg.jp

木更津の消防車

災害用多目的支援車



今回の『木更津の消防車』は、コチラ！「災害用多目的支援車」です。この車両は、令和2年度緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用して配備した車両で、数多くの救助等資機材を搬送できる機能や20名の人員輸送としての機能を保持し、様々な特殊資機材を装備しています。市内で発生した水難救助事故、テロ災害等の特殊災害への対応はもちろんですが、「緊急消防援助隊」及び「千葉県消防広域応援隊」として出動する登録をしていることから、平成23年3月に発生した『東日本大震災』のような被災地の消防力のみでは対応困難な大規模・特殊災害の発生に際して、被災地の市町村長などの要請により出動し活動することもあるのです。

3年ぶり 消防出初式!! 市民を守る 決意新たに

令和5年木更津市消防出初式を去る1月22日(日)に旧市役所敷地内で開催しました。式典や観閲、分列行進、連携総合訓練が行われ、消防職団員は職務遂行の決意を新たにしました。今年は新型コロナウイルス対策での人数制限はせず、式典には職団員、市関係者ら約850人が出席。長年勤続し功績のある団員らを表彰しました。



大規模地震災害を想定した連携総合訓練では、「千葉県南部を震源域とするマグニチュード7.2の直下地震が発生。市内において震度6強の強い揺れを観測し大規模災害が発生した。」との想定で、市消防車両7台、市消防団車両4台が出動。千葉市消防局の消防ヘリコプター『おとり』、川崎市消防局の消防ヘリコプター『そよかぜ』、千葉アクア生コンクリート協同組合のミキサー車にも御協力をいただき訓練を実施しました。また、初めての試みとして千葉市消防局の消防ヘリコプター「おとり」の展示を行い、離着陸の際は、「凄い!」「かっこいい!」などの声が聞こえました。



消防本部ホームページQRコード



救急車の適正利用について

■ 救急車の適正利用にご協力をお願いします

全国的に救急件数は増加しており、木更津市でも年々救急件数が増加しています。

木更津市での令和4年の救急出動件数は **8072** 件で過去最多となっており、令和3年では6720件で前年と比較すると**1352** 件の増加となります。

これらの中には、「救急車で行けば早く診てもらえる」「タクシーだとお金がかかる」「どこの病院に行ったらいいかわからない」などといった、緊急性や重症感のない救急要請が含まれています。

■ 救急車は限りある資源

119番通報を受けると、現場直近の救急車が出動しますが、直近の救急車が出動している場合は次に近い救急車が出動することになり、現場到着に時間を要してしまいます。このため、本来救急車が必要とする傷病者に対する救命処置が遅れてしまいます。

こういった「救える命」を守るために救急車の適正利用を推進しています。

ただし、傷病者の状態に緊急性・重症感があり、急いで病院へ搬送したほうが良いと思われるときは、直ちに119番通報してください。



救急車を呼ぶか迷ったら

「家族の様子がなんとなくおかしいけど、救急車呼んだ方が良いのかな…」 「具合が悪いけど病院に行ったほうが良いのかな…」 こんな時、あなたはどうしますか？

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだほうが良いか、今すぐに病院に行ったほうが良いかなど、判断に迷うことがあると思います。

そのような時に、相談することが出来る電話窓口があります。

救急安心電話相談

7 0 0 9

または03-6735-8305

平日土曜：18：00～翌日6：00

日曜祝日・年末年始・GW

9：00～翌日6：00

小児救急電話相談

8 0 0 0

または043-242-9939

毎日19：00～翌日6：00